

第179回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成24年6月7日(木) 11:00~11:30

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 7人
出席委員数 7人

(1) 出席委員の氏名 早川 富美子(委員長)
片山 貴之(副委員長)
青木 敬信
古磯 勝子
片岡 真理
森内 律子
島田 恭子

(2) 放送事業者側出席者 神野 俊彦(代表取締役社長)
大森 敏秋(参与)
佐藤 望(放送部長)
古寺 雄史(放送部課長)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

5月31日に放送したふるさと応援番組「那須deナイト!」について、試聴と意見交換を行った。

事業者 那須町提供で4月12日からスタートした「那須deナイト!」は、この春から那須地区に在住している樋口直子をDJに、那須町の観光、イベント、広報関係の情報を毎週木曜日の夜7時から、55分間の生放送でお届けしている番組です。

【 番組の試聴 】

委員：取材先の方の話がとてもユニークで、とても楽しかった。毎週出演してほしいと思った。

委員：町役場、商工観光課の喋りも、一生懸命に那須の良さを伝えようとしていた。

委員：パーソナリティの樋口さんは、声質もよく、最初、さわやかな印象を持って番組を聴き始めたが、特に原稿を読む際などで単調に聞こえ、長い時間聴いていると退屈に感じてしまった。

委員：樋口さんの話は、抑揚の幅があるが、そのパターンがどれも同じで、単調に聞こえてしまう。コーナーの内容に応じて、読み方を変えるなどの工夫がほしい。

委員：名前を読み間違えた場面が複数あったり、取材先の場所の説明もよく分からなかった。那須町はとても広いので、きちんと伝えてほしい。

委員：自治体の町の広報誌やタウン情報誌を音にしているような番組内容で、30分で聞ける内容を55分かけて放送しているように感じて、あまり番組の魅力を感じられなかった。今まで知らなかった場所を知るきっかけになるような情報だったり、那須町で活躍している人の魅力をもっと浮き彫りにするようなトークが聴きたい。

委員：甘い台詞というメッセージテーマだったが、紹介したメッセージからは、あまり”甘さ”が伝わってこなく、樋口さんの話も理解できなかった。また、メッセージテーマを意識して、選曲もロマンチックな楽曲をかけるなどの工夫も、ほしかった。

委員：55分間のふるさと応援番組ではあるが、他の番組のように専属リポーターを置かなかったのは、どういった理由か？

事業者：放送が夜の時間帯のため、生中継スタイルでレポートに応じてもらえる場所があまりなく、事前に録音した放送素材を流すことを基本とした番組作りになっている。そういったことから、当番組に関しては、専属リポーターを置く意味合いは薄いと感じているが、55分間の番組に新たな展開を起こせるよう、新たにリポーターを置くことを検討したい。

委員：この番組は、夜に放送している番組なので、パーソナリティは、もっとゆったりとした感じで話してほしいと思った。どちらかというと爽やかな声質の樋口さんを、この時間の番組のパーソナリティに起用したのはなぜか？

事業者：既に数多くの”ふるさと応援番組”が昼の時間帯を中心に放送しており、今回の那須町の番組に関しては、編成上、夜の時間帯での放送を選択した。夜の時間帯での放送をより意識して、番組内容やトークを、見直していきたい。

委員：”ふるさと応援番組”が12に増え、基本的な番組作りがどれも同じで、自治体の名前こそ違えど、その特色があまり見えてこないのが、気になる。

単に、自治体から求められる観光情報を直接的に広告するのではなく、制作側が自ら、その地域の魅力をもっと掘り下げて取材し、そこで発見したことを番組の中で伝えてほしい。

(以上)

(2) その他

なし

(3) 次回開催日程について

次回の開催を7月5日(木)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日

なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

(1) 放送 6月24日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内

(2) 書面 本社事務所に備え置き

(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項

なし